

## がいらいご 外来語

ぼく にほん き ねん がいらいご  
僕はアメリカから日本へ来て、もう5年になる。しかし、いまだに外来語  
にがて ぼく がいこくじん かんたん おも ひと  
が苦手だ。カタカナのことばは僕みたい外国人には簡単だと思っている人  
がいるが、とんでもない。まるで宇宙人のことばのようだ。

はつおん まぎ にほんじん えいご おな おも  
まず、発音が紛らわしい。日本人は英語と同じだと思っているかもしれ  
ないが、まったく別のことばとしか思えない。僕自身もそうだけど、ほかの  
くに ゆうじん なか ちが ひと  
国の友人の中にはコーヒーとコピーの違いがわからない人もいる。

つか わ ふくざつ はじ にほん き  
また、使い分けも複雑でよくわからない。初めて日本へ来たころ、レス  
トランで「ご飯、ください」と言ったら、「ライスですね」と言われた。「ア  
ドレスは？」と聞かれて、住所を教えたら、相手がびっくりしたこともあ  
る。「アドレス」は日本語では「メールアドレス」の意味なんだそうだ。そ  
れに「アポ」とか「プレゼン」のようなことばになると、何が何だかわから  
ない。

さいきん  
最近「アイデンティティ」とか「コンプライアンス」などのことばも  
つか にほんご い つか  
使われている。日本語でうまく言えないから、使われるのかもしれない。し  
かし、日本語で言えるのに、外来語を使うのは問題だ。例えば、よく「ポ  
リシー」と言う人がいるが、「考え方」とか「やり方」と言ったほうがず  
っとうまくと正確でわかりやすい場合が多い。

もちろん、僕は外来語に 100% 反対なのではない。だれでも普通に使っている「シャツ」や「パソコン」などをいまさら変える必要はないと思う。

外来語は日本語になくてもならないものだが、使いすぎはよくない。「バランス」が取れた使い方を考えなければならないと思う。